



災害と福祉

助かった命、その先を生きる

あなた自身の避難生活を考えてみましょう

大切な命が助かったあと、避難生活は避難所だけでなく、自宅あるいは車中となることも予想されます。発災後およそ72時間後から長期にわたる避難生活を想定し、自分事として考えてみませんか。

また、能登半島地震で被災した能登町と七尾市の災害ボランティアセンターへ支援に入った、藤沢市社会福祉協議会職員の方に、実際の自宅避難の様子や課題、支援の状況についてもお話を伺います。

日時 9月6日（金）午後2時～4時

会場 片瀬市民センター 2階ホール

◆第1部◆

避難生活とは 片瀬地区で想定される課題と現状

片瀬地区社会福祉協議会 災害と福祉ワーキンググループ

◆第2部◆

能登半島地震 能登町・七尾市での支援報告

藤沢市社会福祉協議会 二部 寛之 様

高橋 恭平 様

定員 60名（先着）

申込は不要です。直接会場にお越しください。



問合せ

片瀬地区社会福祉協議会事務局（片瀬市民センター内）

電話：27-2711（平日午前8時半～午後5時）

メール：fj-kata-c@city.fujisawa.lg.jp